

2010.10.03

医療安全全国共同行動
石川フォーラム



事例紹介

医療法人社団和楽仁 芳珠記念病院

医療安全リスク管理室

医療安全管理者 村本 恵美子



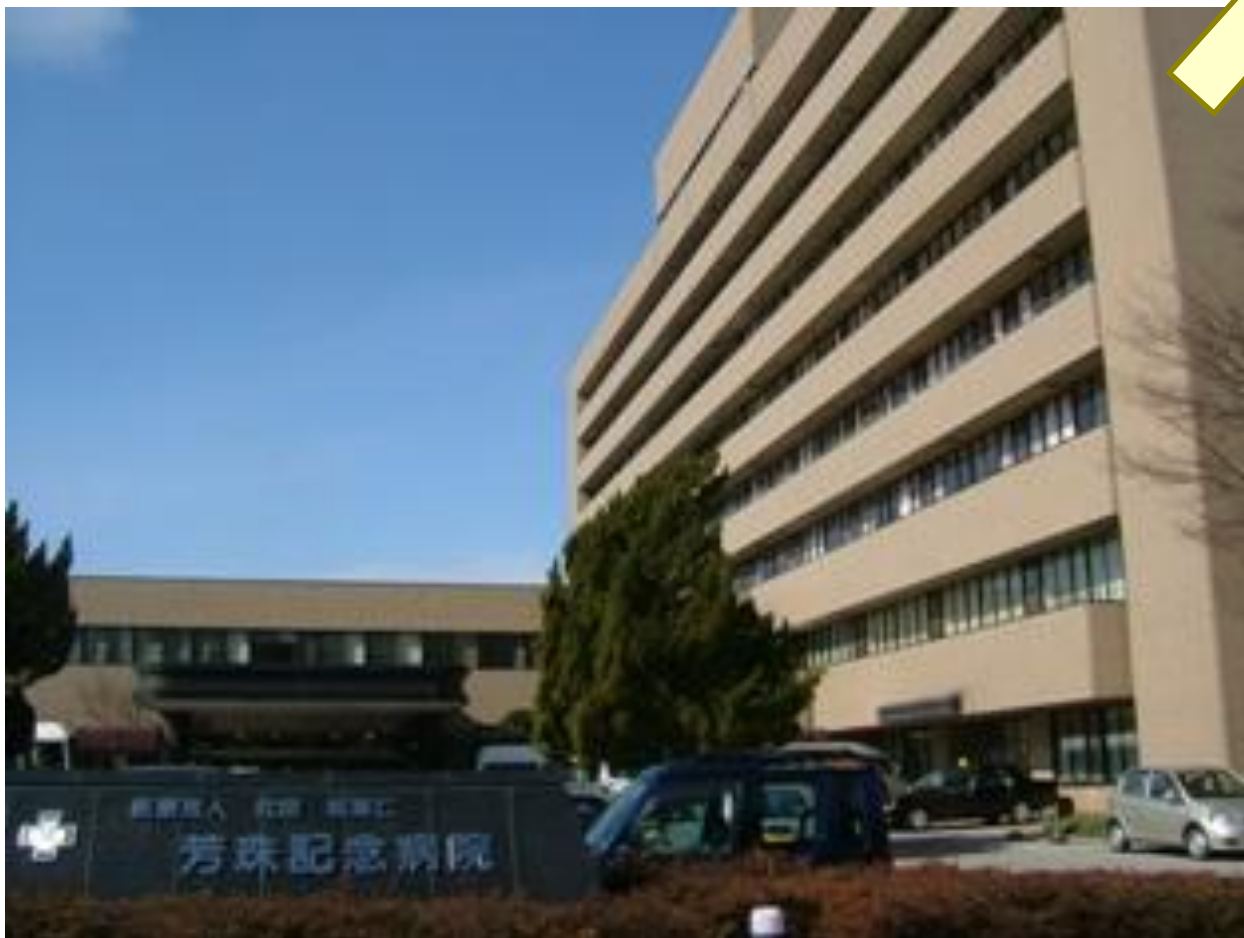
本日紹介する事例内容

1. 当院の概要
2. 当院が参加している行動目標
（3a経鼻栄養チューブ）の取り組み
3. 医療安全研修会（パネル展示会）の紹介

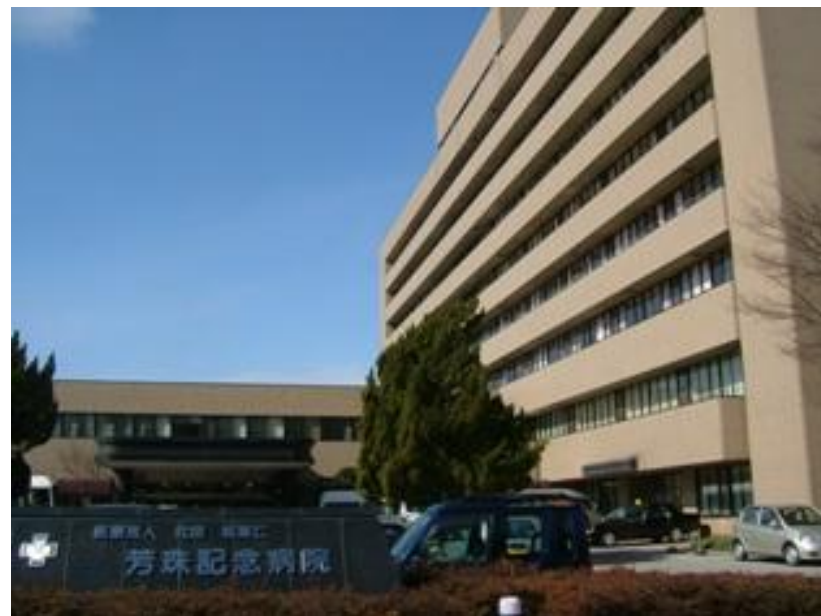
医療法人 社団 和楽仁 芳珠記念病院



- ★ 近くには
- 石川動物園
 - 丘陵公園
 - 辰口温泉
 - 先端技術大学院大学
があります



病院の概要



- 診療科目：31科
- 病床区分：一般病床・療養病床
- 病床数：一般病床200床

（うち亜急性期病床28床）

医療療養病床：60床

介護療養病床：60床

計320床



日本医療安全全国共同行動
いのちを守るパートナーズ

医療安全全国共同行動

いのちを守るパートナーズ



日本医療安全全国共同行動
いのちを守るパートナーズ

行動目標

行動目標

- 1: 危険薬の誤投与防止
- 2: 周術期肺塞栓症の予防
- 3: 危険手技の安全な実施
- 4: 医療関連感染症の防止
- 5: 医療機器の安全な操作と管理
- 6: 急変時の迅速対応
- 7: 事例要因分析から改善へ
- 8: 患者・市民の医療参加

医療安全全国共同行動

8つの行動目標

当院が参加
している
行動目標

行動目標1 危険薬の誤投与防止

行動目標2 周術期肺塞栓症の予防

行動目標3 危険手技の安全な実施

(a) 経鼻栄養チューブ

(b) 中心静脈カテーテル

行動目標4 医療関連感染症の防止

行動目標5 医療機器の安全な操作と管理

(a) 輸液ポンプ・シリンジポンプ

(b) 人工呼吸器

行動目標6 急変時の迅速対応

行動目標7 事例要因分析から改善へ

行動目標8 患者・市民の医療参加

経鼻栄養チューブの安全確保に関する手順

2009.2.19改訂
医療安全推進室

2009年2月
改定

① 初回挿入時及び自己抜去時の確認手順

「看護技術・検査手順ファイル」
の看護手順（経管栄養）参照

経鼻栄養チューブ挿入

※Air音3点チェック

胃内容物を吸引し確認する

吸引できた:
・確実に入っていると
予測できる。

吸引できない:
チューブが、口腔内にとぐ
ろ・食道で屈曲・胃壁面に付
くなどが考えられる。

統合セットの経鼻胃管X-P
※チューブ先端部の位置確認

チューブに外鼻孔の位置をマーキングし、
固定する。その長さを記録する。

栄養剤注入

※（初回注入は人員が多い日勤帯に行なう）

③ 栄養剤注入時の確認手順

口腔内の確認（経鼻栄養チューブ
が蛇行していないか確認）

経鼻栄養チューブのマーキング位置の確認

チューブの逸脱がない

チューブの逸脱がある

②「再挿入時」の手順
に準ずる

栄養剤注入

② 再挿入時の確認手順

食用色素水（20～50ml）を準備する
白湯50ml+インジゴカルミン2ml

③栄養剤注入時の確認手順
に従いチューブの確認をする

食用色素水注入

現在入っている古いチューブを抜去

新しいチューブを挿入

胃内容物（食用色素水）を吸引する

胃内容物（食用色素水）が吸引できない

挿入する長さを変える
、体位を変える

胃内容物（食用色素
水）が吸引できない

チューブを入れ替える

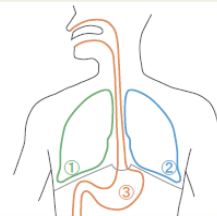
胃内容物（食用色素
水）が吸引できない

胃内容物（食用色素水）
が吸引できた

栄養剤注入

統合セットの経鼻胃管X-P
※チューブ先端部の位置確認

※Air音3点チェック



聴診器を①右下肺、②左下肺野、③心臓部の3カ所にあて、
それぞれの部位で空気を注入（各10ml～20ml）し、気泡音
（ゴボツ）が聴こえるか？最強音が③であるか？を確認する

参考

日本医療マシ X外科学会雑誌
Vol.9, No2, 2008

国立病院機構本部九州ブ
ロック事務所

「経鼻栄養胃管気道内誤
挿入防止のための指針」

経鼻栄養チューブの挿入と管理

有害事象は、

- 初回挿入、交換時、高齢者、意識障害、呼吸器疾患に多い
- 聴診法のみでは確認は不十分

3a 経鼻栄養チューブ挿入時位置確認が徹底

〔目標〕

経鼻栄養チューブ挿入留置手技に伴う有害事象とこれに起因する死亡を防ぐ

〔推奨する対策〕

1. 経鼻栄養チューブ誤挿入のハイリスク患者の識別
2. 聴診法を位置確認の確定判断基準にしない
3. 経鼻栄養チューブの挿入と位置確認のためのマニュアルの策定及び遵守
4. pH測定をすべての経鼻栄養チューブ挿入時位置確認の基準に採用する（チャレンジ）
5. レントゲンで挿入時の位置確認

※推奨対策は随時更新されます。

2009年12月現在

見直し必要！

2010.05.15開催

医療安全全国共同行動

2周年記念フォーラム

実技講習会

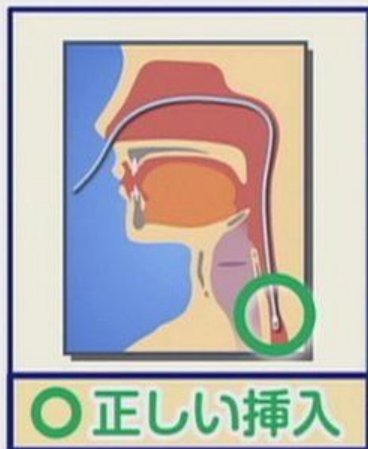
”経鼻栄養チューブの挿入留置手技“

～安全な栄養チューブの挿入を目指して一人・もの・技術～

参加

危険手技の安全な実施

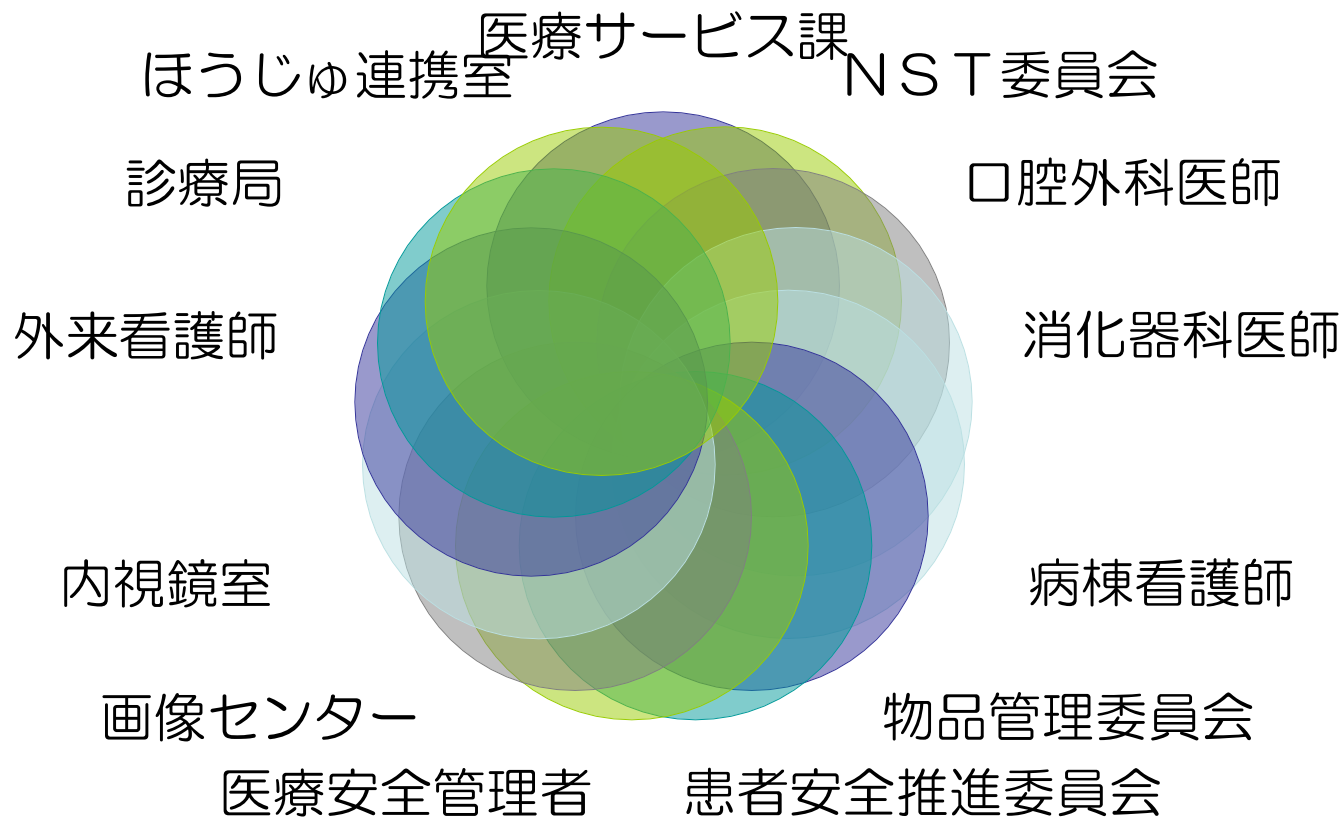
経鼻栄養チューブ挿入位置確認の徹底



新横浜リハビリテーション病院 看護師長

摂食・嚥下障害看護 認定看護師 寺見雅子

手順作成に関わった部署

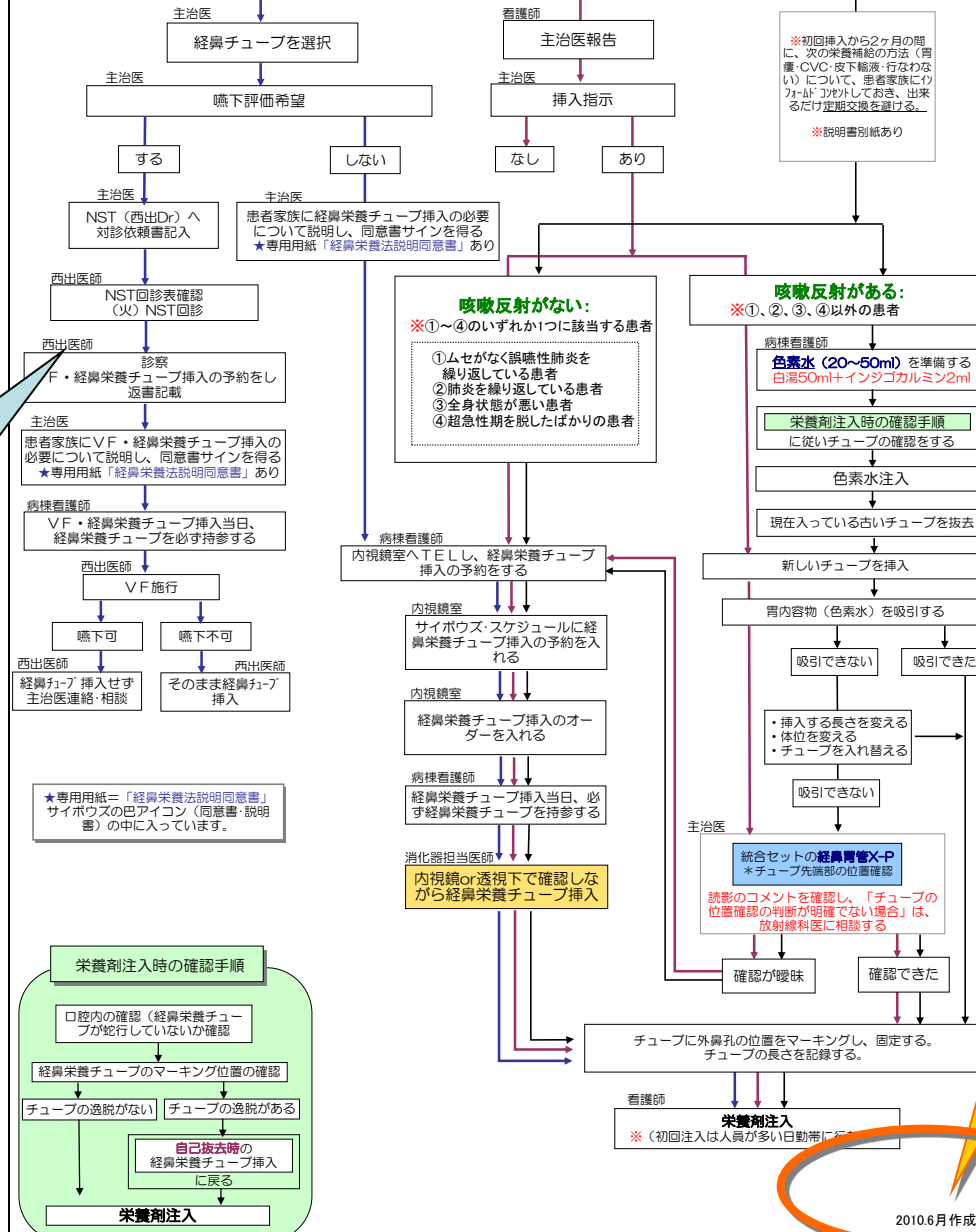


経鼻栄養チューブ挿入の安全確保に関する手順

初回挿入時

自己抜去時

定期交換時



当院の
「経鼻栄養チューブ
挿入の安全確保
に関する手順」
の見直し

2010年8月
改定

2010.6月作成

経鼻栄養チューブ 挿入の安全確保に関する手順

初回
挿入時

自己
抜去時

定期
交換時

咳嗽反射がない:

※①～④のいずれか1つに該当する患者

- ①ムセがなく誤嚥性肺炎を繰り返している患者
- ②肺炎を繰り返している患者
- ③全身状態が悪い患者
- ④超急性期を脱したばかりの患者

咳嗽反射の有無確認

なし あり

なし あり

消化器科医師により
内視鏡or透視下で確
認しながら経鼻栄養
チューブ 挿入

レントゲン撮影によるチューブ
先端部の位置確認

挿入中のチューブ から色素水
(イソゾーカミン) を注入し抜
去、新しいチューブ を挿入し
色素水の吸引を確認

確認できなかった場合

確認できなかった場合

医療安全研修会の開催

セイフティ研修会

みんなで一緒に医療安全！
～パネル展示会～

24時間開催

日時:2010年7月21日(水)9:00～
22日(木)19:00

場所:陽だまり1階会議室(職員玄関近く)

対象:全職員

今回のセイフティ研修会は、各部署から医療安全に関する取り組みやお知らせなどの掲示物を1枚ずつ提出してもらい、展示式で研修会を行ないます。院内の医療安全に関する情報が集まります。ぜひみなさんご参加ください！

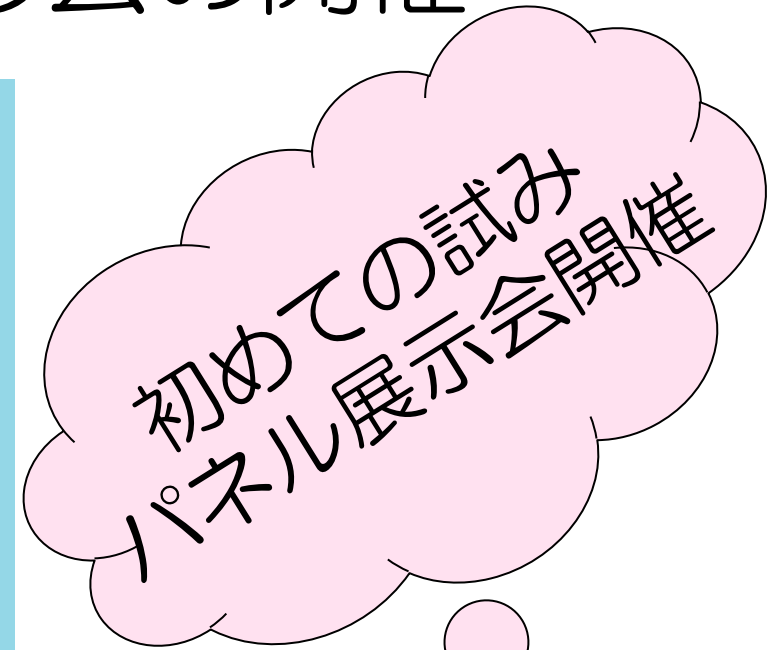
開催期間中は部屋を開放しますので、夜間でもご自由に
参加いただけます。

展示内容

- ・ 院内の各部署からの医療安全に関する取り組み、お知らせなど
- ・ 医療安全リスク管理室からのCLIPの集計データ
- ・ 医療安全リスク管理室からの「転倒」「薬剤」「チューブ類の抜去」に関するまとめ
- ・ 診療局の医療安全に関するアンケート結果

など

主催：患者安全推進委員会



講義



KYTグループワーク



これまでの 医療安全研修会



実演研修

houju

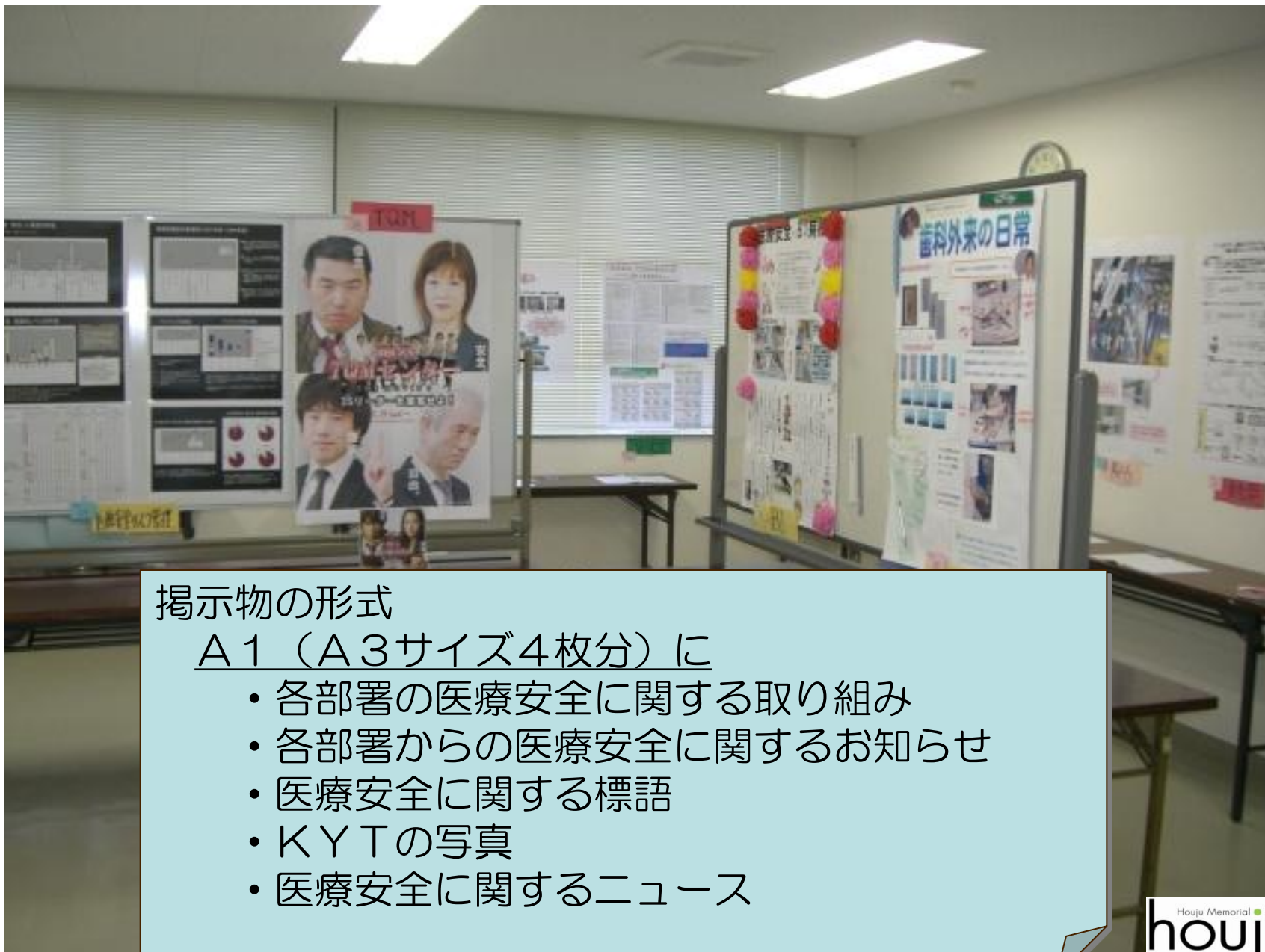
KYT研修

医療安全研修

～パネル展示の目的～

- 一人でも多くの職員に参加してもらう。
- 各部署でパネルを作製することで、医療安全を見つめ直す。
- パネルを貼り出す事で、各部署で行っている医療安全の実際を知り、お互いの取り組みや考え方を共有する。





掲示物の形式

A1（A3サイズ4枚分）に

- 各部署の医療安全に関する取り組み
- 各部署からの医療安全に関するお知らせ
- 医療安全に関する標語
- K Y Tの写真
- 医療安全に関するニュース





コメントノートの 配置



コメントノートに
書かれた質問には
後日まとめて
回答します

自由に意見
が書ける

コメントが記載
されていないか
日に何度も確認
に来る部署も...。
記載があると
嬉しそう！

コメントノートに記載
された質問事項は、質
問された部署からそれ
ぞれ回答を提出しても
らい、一覧にして全部
署に返した。

コメントノートに
書かれた質問には
後日まとめて
回答します

2010/07/23

会場内に静かな音楽を流した♪♪



キャンディの
差し入れも

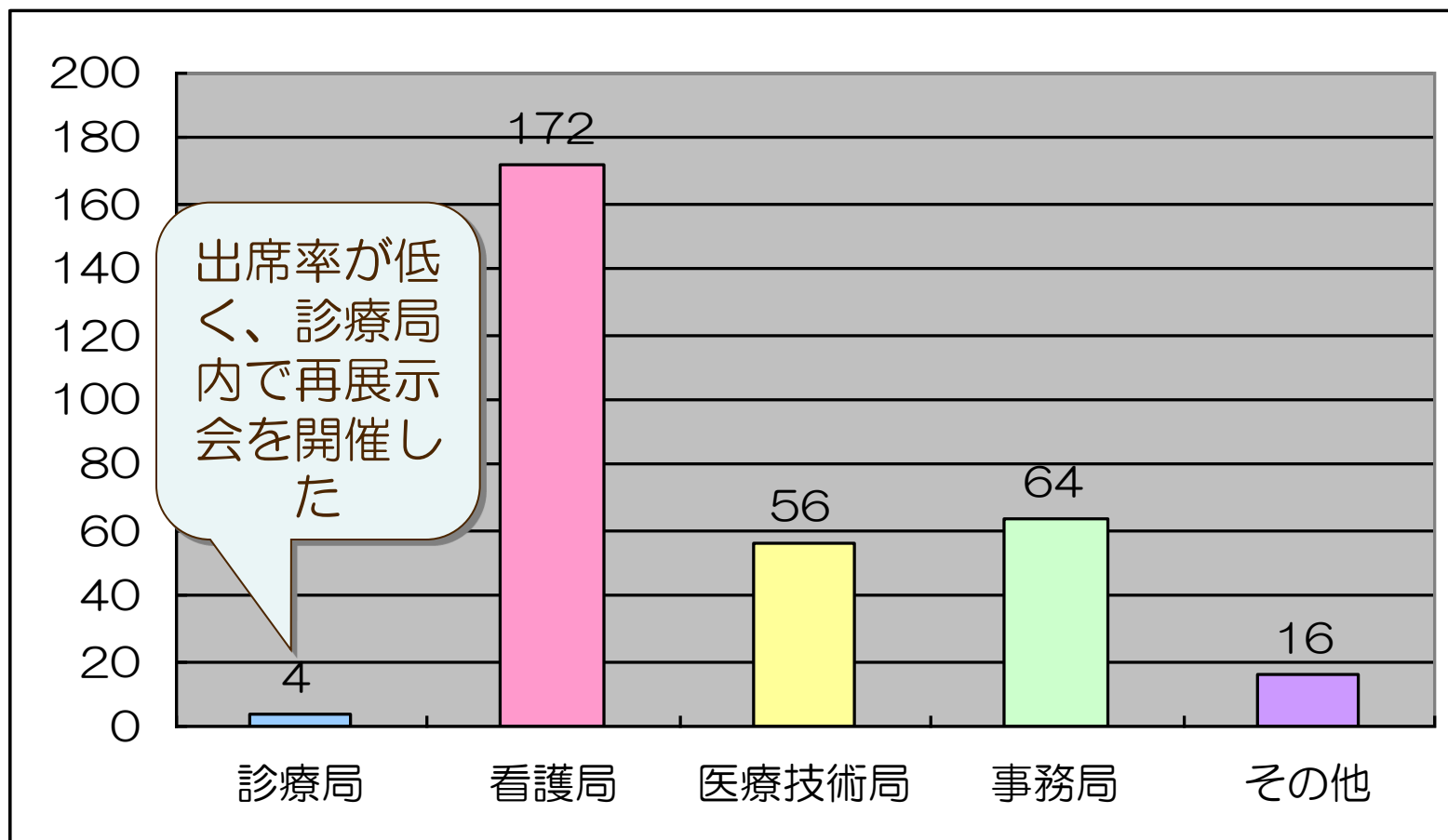


参加人数

312人

542人

(非常勤医・派遣・パート職員含む)

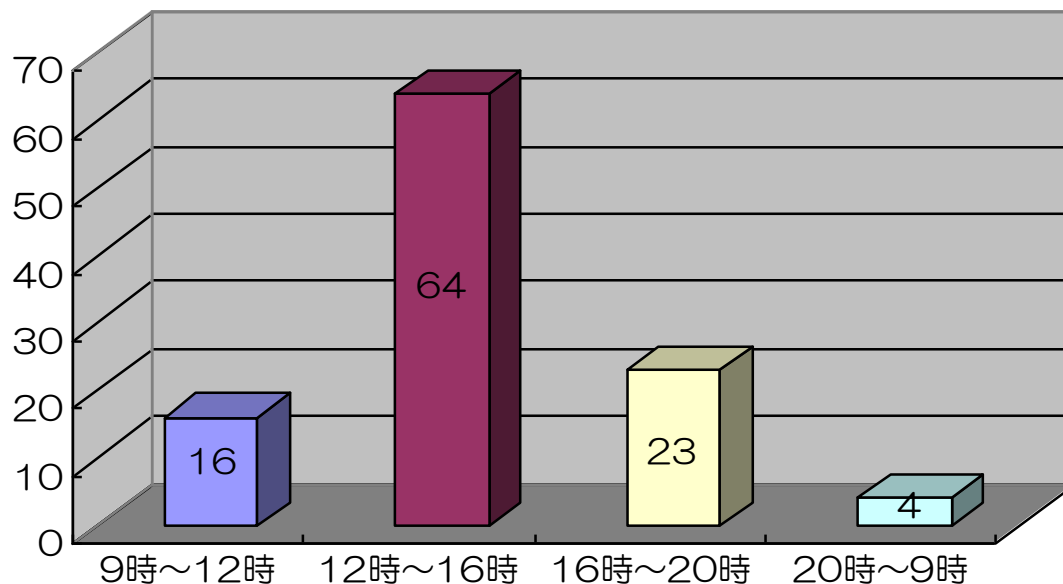


研修に参加した時間の割合

1日目（水曜日）

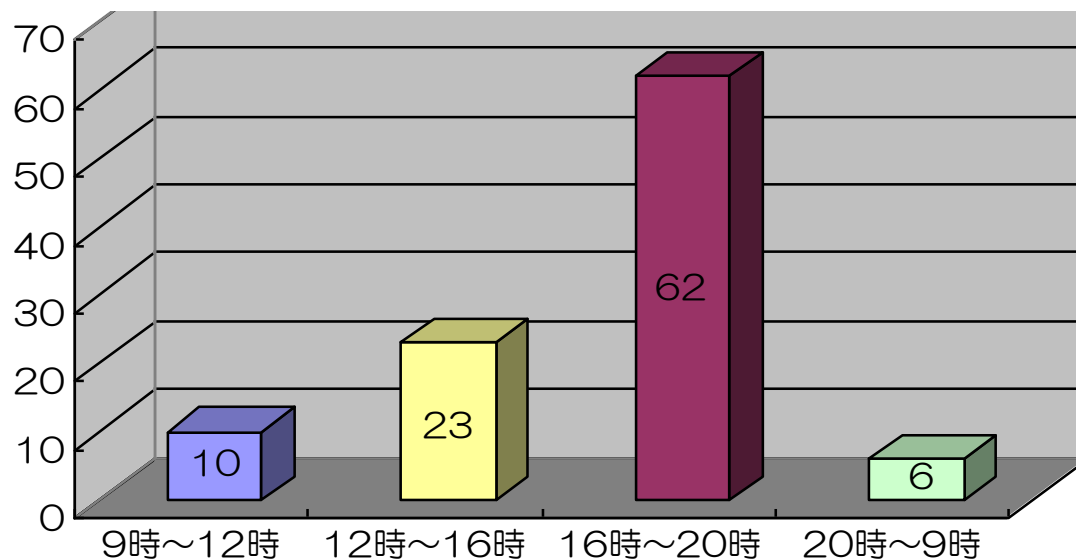
半日勤務

休憩時間に参加する人もいたが、帰宅前に参加する人が多かった



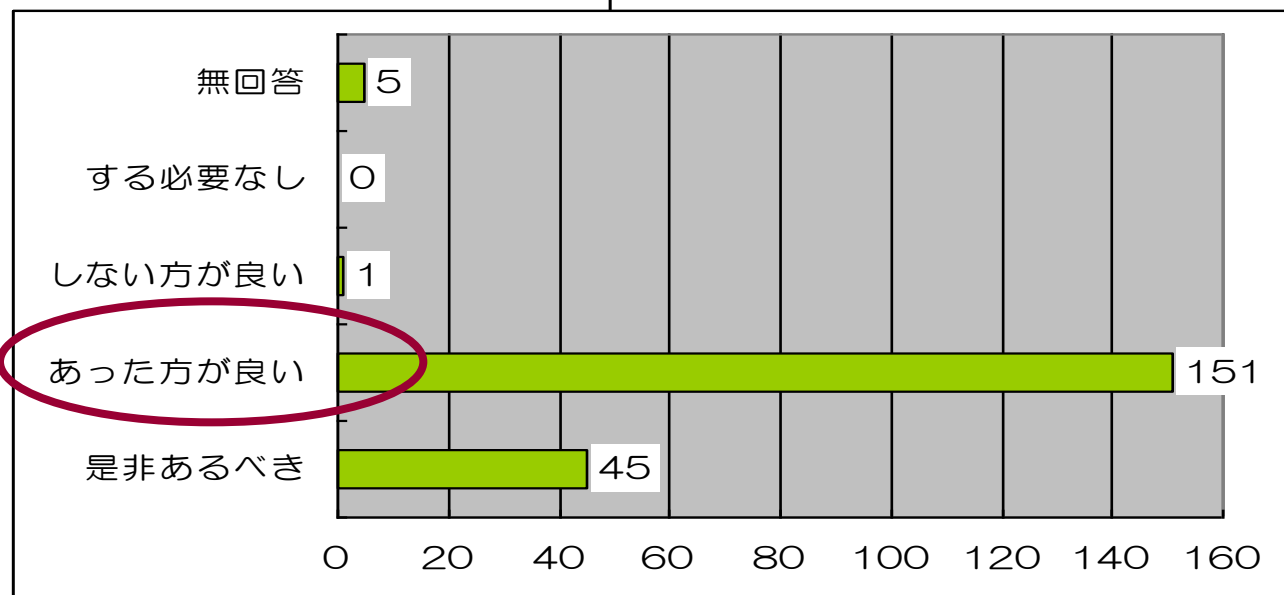
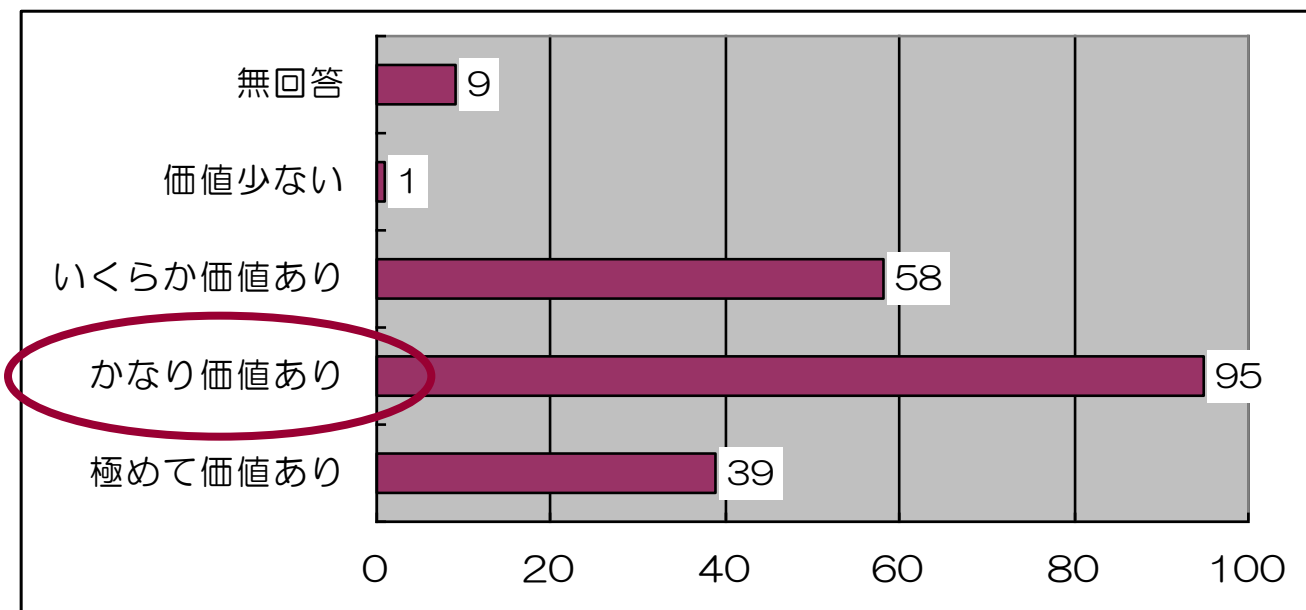
2日目（木曜日）

1日勤務



アンケート結果

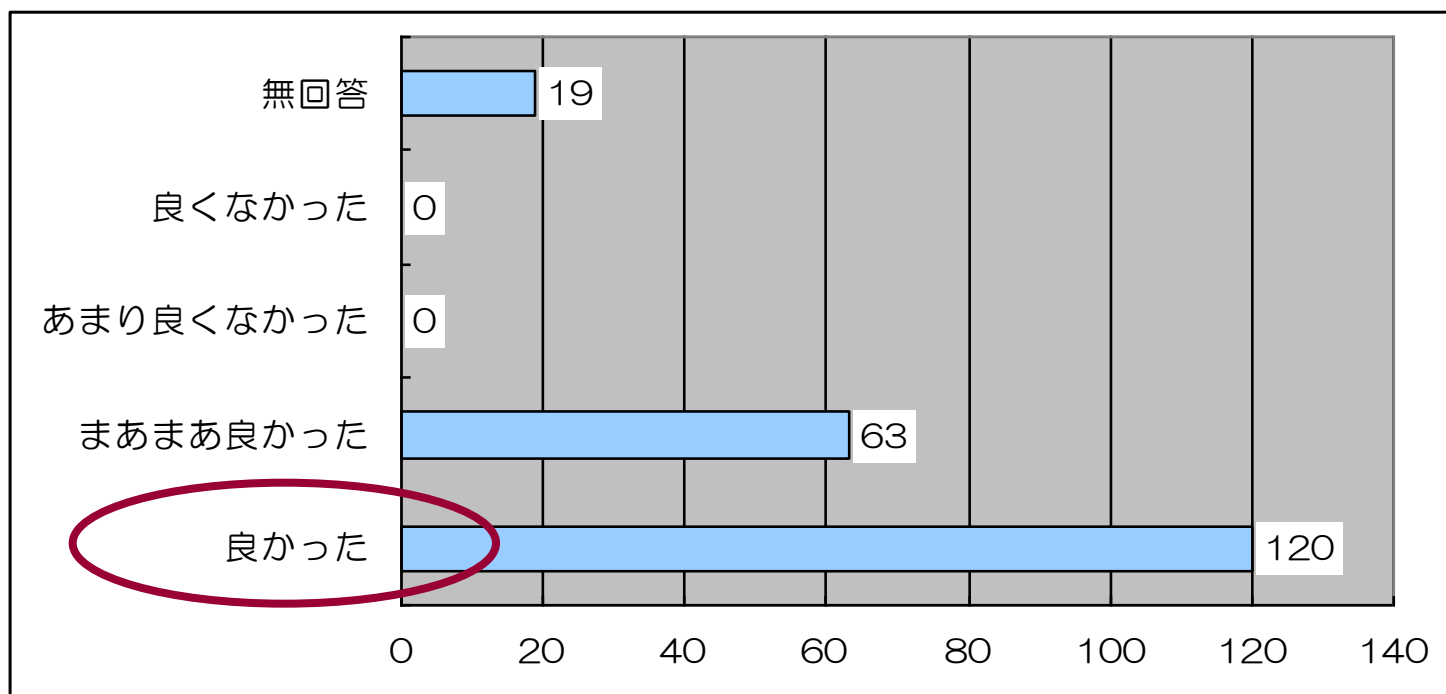
●あなたにとってこの研修は価値がありましたか



●来年もこれと同じ研修があったほうがよいと思いますか

アンケート結果

●今回のようなパ〇祉
展示方式の研修会は
いかがでしたか



パネル展示方式の良かったところ

- 各部署の取り組みを自分の時間を利用して見れるところが良かった。
- 一つ一つじっくり自分のペースで学習できるところ。
- みんなが医療安全について考える機会になったこと。
- 伝えたい事が端的に分かる、時間がかからない、一気に他部署の発表が見られる。
- 自分の職場だけでは気づかない点が沢山あって参考になった。
- 自分たちの部署でも取り組んでいきたいと思った。
- それぞれの良いところや工夫が見れた。患者さんにも見せてあげたいと思った。
- それぞれの現場が、自分たちの現状を見直す機会になった。

パネル展示方式の良くなかったところ

- 開催期間が短くてもったいない。期間延長5日程。
- 思ったより見るのに時間がかかるので、もう少し日を増やして欲しい。
- 詳しく知りたい時にすぐに聞けない。
- 発表の時間があるってアピールできると良かった。
- 細かい字は読みづらい。
- 会場を広くした方がのんびり見る事ができる。

その他の意見

- 外来で展示できると、取り組みとして面白く、患者さんの待ち時間対策にもなる。
- 次回も楽しみにしている。
- 各パネルごとにコメントノートがあるのがGood idea!

今後の課題

“みんなで一緒に医療安全”をテーマに、患者さんや地域の方々にも参加してもらえるパネル展示会を企画開催する。

ご清聴ありがとうございました。